

2021/08/02

学生・教職員の皆さまへ

日本工業大学

新型コロナウイルスに係る「エアロゾル」感染への注意について

日頃は新型コロナウイルス感染防止にご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、クラスター事例の解析から、空気中を長時間浮遊する「エアロゾル」（厚生労働省は「マイクロ飛沫」と表現）による感染が指摘されています。これは、ソーシャルディスタンスの根拠とされている2m以内で落下する飛沫よりも小さい飛沫で、換気が不十分な空間では高濃度となり、10m程度離れた事例でも感染しています。「エアロゾル」感染のリスクは、エアロゾル濃度（換気の悪さ）と暴露時間（滞在時間）の掛け算になります。アクリル板による仕切りやソーシャルディスタンスの確保では、この経路の感染は防げません。対策を施した店舗でも、換気が不十分な場合は、店内での飲食を避けてテイクアウトにする、無理な場合には、できるだけ短時間での飲食を心がけましょう。猛暑の中、冷房のため換気が不十分となるケースが多くなっています。十分注意して下さい。

※「エアロゾル感染」については、下記のサイトなどで確認できます。

<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4561/index.html>

<http://www.shasej.org/recommendation/covid-19/2021.05.06%20%20kaishi5.pdf>

引き続き、新型コロナウイルス感染対策にご理解とご協力をお願いいたします。

以上